

Dr. 中路の健やか通信 (其の21)

健やか協力隊長 中路



第21回 市町村における健康づくり（弘前市）

弘前市の櫻田市長は、健康づくりにとても熱心です。「弘前を健康都市に！」本気でそう思っています。

弘前市は、学都という特徴を生かし、また弘前市医師会など関連機関との強い連携で、じつに意欲的な健康づくり活動を行っています。以下にいくつか紹介します。

①岩木健康増進プロジェクト：弘前大学 COI の目玉で 2005 年より始まり現在 16 年目を迎えている。毎年 1,000 人を超える成人が参加し、3,000 項目にもおよぶ健康調査を受けている。健康調査をやる側として産官学民約 350 名のスタッフが参加している。今や日本を代表する健康プロジェクト。

②いきいき健診：2016 年に開始した、全国 8 か所で行われている国の認知症の追跡研究のひとつ。65～80 歳の市民約 2,400 名を対象に、認知症やそれに関連する健康調査を行い、10 年間の追跡をしている。

③健康リーダー育成：2012 年から 6 年間、弘前市が弘前大学に寄付講座「地域健康増進学講座」を設立した。本講座が主催して、「ひろさき健幸増進リーダー」育成事業が始まり、184 名のリーダーが誕生した。2018 年度のリーダーの活動は全部で 94 か所にも及び、各教室へのリーダー参加者は延べで 3,250 人であった。また、各教室の市民の参加者数は延べ 22,100 人にも達した。

④健康づくりサポーター：希望制であるひろさき健幸増進リーダーに加えて、町会からの推薦や自薦により 290 名の健康づくりサポーターが、現在、市長より委嘱されて、活動している。今はひろさき健幸増進リーダーと健康づくりサポーター及び食生活改善推進員が市役所、大学などと連携して健康づくり活動を行っている。

このほか弘前市では以下のような優れた対策も行われています。

①健康経営の推進：2014 年「ひろさき健やか企業認定制度」を創設。認定企業は、県内金融機関の融資制度の金利引き下げのインセンティブが得られる。現在の認定企業は 62。

②2016 年「弘前市たばこの健康被害防止対策の指針」が出された。市が出すこのようなガイドラインは当時少なかった。

③糖尿病重症化対策：人工透析患者を減らすために糖尿病の重症化予防は大切な対策である。弘前市は弘前市医師会と連携して、国民健康保険の被保険者を対象に、特定健診結果から割り出した高リスク者に対して受診を勧奨し、保健指導を実施したりしている。

④子供に対するヘリコクターピロリ対策：将来の胃がん発症予防のため、中学生ピロリ菌検査事業を実施している。

以上のように弘前市は、弘前大学、弘前市医師会などの関連機関と連携しながら意欲的な取り組みを実施し、成果を上げています。その活動と成果が全国から注目されています。

ひろさき健幸増進リーダー(一期生)

